



有限会社まる阿水産 SDGs宣言

当社は、「お客様に喜ばれる種苗(稚魚)作り」という経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年9月1日

有限会社まる阿水産
代表取締役 松浦 昭典



重点項目(ターゲット2030)

安全な養殖用稚魚の安定供給

すべての人が安全な魚を食べられるよう、最新のDNA解析技術で、魚の系統管理や選抜を行うことで安全性を確保し、永年の経験で、水温・日長・餌を工夫し、通年で良質な養殖用の稚魚を生産します。

【主な取り組み】

最新のDNA解析技術の導入、愛媛大学との共同研究、永年の技術研鑽・工夫



適切な労働環境の整備

地元人材に加え、全国から採用した多様な専門人材が、互いに強みを持ち寄り、協力し合うことで、闊達な働きやすい職場をつくります。

【主な取り組み】

地元人材・全国の専門人材の採用・育成、定期的な社員間のコミュニケーション、OJTによるベテランから若手への経験の継承



管理の徹底で海を守る

稚魚の育成は、清浄な瀬戸内海の水を原水としており、海の豊かさを守ることが、私たちの将来を豊かにします。生産量・餌・移入種等の管理を徹底することで、生態系を維持し、海の世界連鎖を守ります。

【主な取り組み】

稚魚の生産量適正化、餌の投入量の適正化、移入種の放流抑止の徹底



公正な事業慣行と企業統治

コンプライアンス強化により、経営の透明性・公平性向上に取り組めます。企業価値の向上に努め、地域社会から信頼を獲得します。

【主な取り組み】

経営理念の明文化、権限規定の作成、リスクマネジメント専門部署の設置、法令順守の定期的な検証、取引先に対する誠実な対応



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。